

「むすびえ・こども食堂基金」第4回助成 応募申請書

記入日:2020年8月22日

適宜、入力スペースを調整していただいて構いません。ただし、申請書は、可能な限り4ページ以内におさまるようお書きください。

1. 連絡先(本助成で申請いただいている場合は、コピー&ペーストで構いません。ただし、担当者が異なる場合は、正しくご記入ください。また、複数団体による共同申請の場合には、新たにご記入ください。団体名・代表者名にはすべての団体・代表名をご記入ください。それ以外は、1団体のみの情報で結構です。)

ふりがな 団体名 (法人の場合、法人格から)	えぬびーおーほうじんぜんこくこどもしょうどうしえんせんたー・むすびえ NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ		
ふりがな 代表者名	ゆあさ まこと 湯浅 誠		
団体の事務所 所在地(連絡先) ※個人宅の場合、 必ず「気付」等 の明記をお願い します。	〒151-0053 東京都渋谷区代々木二丁目12番2号こども食堂ネットワーク内		
	TEL 03-4213-4295		FAX
	E-mail (PC) kodomo@musubie.org		
	URL https://musubie.org/news/2191/		
担当者	氏名 三島理恵	E-mail (PC) mishima@musubie.org	
	TEL 03-4213-4295	携帯電話 080-9452-2171	

・HP や facebook ページがある方は、上記 URL の欄に記載ください。ない場合は、無記入で構いません。
・事務局からメール添付で資料などを送らせていただく場合があるため、メールアドレスは、携帯電話のアドレスでなく、PC メールアドレスをご入力ください。

2. 団体の概要(第1回、第2回助成で申請いただいている場合は、コピー&ペーストで構いません。)

設立年月	西暦 2018 年 12 月	主な活動地域	東京都
団体設立の経緯	ボランティア活動として急増するこども食堂を支え、こども食堂を通じて、誰も取りこぼさない社会を実現させるために、設立した。		
あてはまるもの全てにチェック→ 現在までの 通常活動の内容 ※具体的な活動内容もご 記入ください。	☒ こども食堂としての活動実績あり ☐ コロナ対策支援を機にこども食堂を新設 ☒ こども食堂 ☐ 学習支援 ☐ 学童保育 ☐ こどもの居場所 ☒ その他()		
	2018 年 12 月より、毎月 1 回(第三土曜日)に、こども食堂を開催。 食事の提供と地域住民の交流を目的としている。これまでに 24 回開催。のべ 1200 人の子ども、地域住民が参加した。 一斉休校に伴い、こども食堂でつながる LINE グループに、食材配布の情報を提供し、緊急食品配布、昼食用パン配布供等を 3 回(4/1、4/20、5/4)実施している。3 回合わせたのべ 500 人への食材を提供した。		
団体の規模 (事業費、会員、 ボランティア数等)		2019 年度 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)	2018 年度 (2018 年 4 月～ 2019 年 3 月)
	年間総事業費	約 200 万円	約 180 万円
※今年度の会員・ボラン ティア実績は、直近の 月末実績をご記入下 さい。	ボランティア数	40 人	40 人
	会員数	10 人 1 団体	10 人 1 団体
	活動頻度	1 回/月・週	1 回/月・週
※「会員数」には賛助会 員なども含みます。	利用者数 (1回あたり平均)	約 50 人	約 50 人

新設の団体の場合は、団体の規模に関しては、事業計画内容をご記入ください。

3. 申請事業の概要(活動内容)

応募コース	*申請するコースいずれか1つにチェックを入れてください。重複申請はできません ☐ A:プログラム支援コース(上限 20 万円) ☒ B:食材支援コース(上限 10 万円) ☐ C:チャレンジコース(上限 50 万円)
事業名	つながるむすびえ食堂と フードパントリー緊急支援事業
実績 (300 字程度)	*これまでの活動実績をご記入ください ↑ 実施する事業の名称を記載 地域で老若男女みんなが交流する地域交流拠点として、2018 年 12 月より開始し、毎月 1 回開催で、これまでに 24 回開催し、のべ 1200 人が参加している。 新型コロナウイルスの影響下、2 月より通常の食堂は開催を休止していたが、日頃から繋がる保護者から給食がなくなり、日々の子どもの食事の用意等に伴う食費増による困りごとの相談を受け、4 月から緊急対策として食品を配布するフードパントリーを実施した。日頃から寄付をしてくれている企業や農家などに呼びかけ、食料品の提供を受けて用意したが 100 人分の食料に対し、130 人の方が来場され不足が出た。利用者は、未就学児および小学生の子育て世帯が多く、学校休校や幼保の登園自粛の影響で日頃からこども食堂を利用する家庭以外にも多くのニーズがあると推察される。
事業計画 (1000 字程度) (利用者や活動内容での特色をご記入下さい。)	A コースの方→どのようなプログラムを、いつ実施する予定なのか、5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのようにして)を具体的にご記入ください。 B コースの方→こども食堂 and/or フードパントリー活動について、5W1H を具体的にご記入ください。 C コースの方→計画している事業がなぜ「子どもを支え、事業者を支え、地域を支えるこども食堂」への展開・発展につながるのか、その構想とステップ、本事業の位置付けをできるかぎり明確にご記入ください。 コロナ禍において、フードパントリー事業を行なっているが、開催を重ねるたびに来場者数が増えており、継続的な緊急支援が急務である。 一方で、フードパントリーを行うためには、レトルト食品やお米などの確保が必要不可欠で、全てを寄付で賄えず、持ち出し資金により食材などを調達しているため、団体の支出が重なっている状況だが、食支援が必要な子ども、世帯に食材を届けるために、月二回のフードパントリー事業を継続する。 さらに、緊急事態宣言が解除され、学校も再開していることを受け、8月から居場所としての 3 密を回避しつつこども食堂を再開する。コロナの影響が長期化する中で、子ども同士の関わり合いや、子どもや保護者がほっとする地域の居場所が激減しており、子育て負担を少しでも地域の中で軽減し、子どもの育ちを地域で支えていければという思いである。 参加予定者は、普段からこども食堂を利用している子ども、世帯に加えて、コロナ禍における緊急支援としてのフードパントリーで新たに繋がった家庭に対しても案内し、参加を呼びかけ、より地域に根ざした居場所、地域住民の交流拠点としてのこども食堂の役割を担っていく。 それにより、地域において、取りこぼされかねない子どもや世帯に、食と、居場所、つながりを提供し、子ども、子育て世帯に寄り添っていく。 フードパントリー開催予定日: 7/1、7/15、8/1、8/15、9/1 利用者数(想定): 650 人(のべ) こども食堂: 8/7、9/7、10/7 利用者(想定): 150 人(のべ)
感染症対策 (300 字程度)	※実施に際しての工夫などについて具体的にご記入ください。 参加者、ボランティアは名前と連絡先を受付にて記入してもらい参加者の把握を行う。そして、体調不良の方の参加は断り、手洗いとアルコール消毒の徹底を参加者、ボランティア全員に呼びかける。また、3 密を回避するために、屋内の窓はあけ、さらに駐車場の一部を食事スペースとし、屋外で食事食べられるようテント、椅子、テーブルなどの設置を行う。

助成対象期間中の 支援対象者数(予定)	総計 800 名(1 回あたり 130 名(うち子ども 80 名)×5 回、こども食堂 1 回あたり 50 名(うち子ども 30 名)×3 回)
予定実施期間 (開催回数、支援対象者数など。助成事業期間内の事業を記載。)	(助成対象期間は 2020 年 12 月 31 日までです) 期間: 7 月 1 日 ~ 10 月 7 日 開催回数: 8 日
助成申請額 (助成申請額の上限と、本申請書の予算に記載されている金額を確認してください。)	(上限は 20 万円です) 13 万円(うち、3 万円は学生支援)

← 助成事業実施機関の確認

← 申請コース上限金額の確認

4. 過去の実績

活動内容	いつから	頻度 or 回数	1 回あたり参加人数 ※総数 名(うちスタッフ 名、子ども 名)
こども食堂	2018 年 12 月	毎月 1 回	50 名(うちス 5 名、子 35 名、保護者 10 名)
フードパントリー (食材・弁当配布)	2020 年 4 月	月 2 回	140 名(うちス 10 名、子 80 名、保護者 50 名)
宅食(食材等配達)	年 月		↑学生ボランティアスタッフも、スタッフに含めてください。
その他	年 月		

5. 主な協力団体・協力者(特になければ記入不要)

団体名、氏名、役職など	事業実施上の役割
フードバンクむすびえ	食料品の提供
むすびえ福祉協議会	広報発信、開催における助言

※協力を得られる外部団体や外部協力者の状況について記入してください。

6. これまで受けた助成金・行政補助金(委託)・企業寄付など(※新しいものから 3 件)

助成金・補助金または委託事業名称	企業名又は行政機関名	交付金額	交付年
ゆあさ基金	ゆあさ財団	100,000	2020

7. 申請事業予算についてご記入ください。(※金額は、半角数字にて記載)

自己資金(寄付、会費、事業収入等。自己資金の内訳は不要です。総額を記載ください。)	合計金額のみ記載 →	86,000
他助成金、補助金	100,000	
その他	□申請中 ☒ 助成決定 □助成事業実施中	
本基金	助成金充当金額との一致の確認 →	★200,000
合計	合計金額の確認 →	386,000 円

※ 収入の「本基金」と支出の「助成金充当額 合計」は同額になるよう記載してください(★)。

	費目 (費目内訳例に記載の費目を参考に、記載ください)	事業総予算額 (本基金も含む実施事業の予算総額を記載ください。)	助成金充当額 (本基金も含む実施事業の予算総額のうち、本基金にて充当する額を記載ください。)	内容 (項目、単価、算出根拠など、出来るだけ具体的に記載ください。)
支出の部	食材購入費	325,000	100,000	@400 円×130 セット×5 回(レトルト食品、即席スープなど) こども食堂用の野菜、肉など食材 65000 円(3 回分)
	学生ボランティア等謝金	45,000	30,000	3000 円×3 人(学生ボランティア)×5 回
	消耗品	10,000	0	ビニール袋(650 人分)、アルコール製剤、A4用紙、模造紙など
	旅費交通費	6,000	0	事前食材調達のためのガソリン代 2000 円×3 人
	合計	386,000 円	★ 130,000 円	

内容には、具体的に算出根拠を記載ください。費目の記載は不要です。

費目内訳例:

食材・弁当等購入費	事業に必要な食材・弁当等の購入費用
人件費	スタッフ人件費
謝金	ボランティア等謝金
会場費	会場使用料
交通費	交通費、ガソリン代
消耗品費	包装材、消毒剤等消耗品
印刷製本費	チラシやパンフレット類の印刷費、コピー代等
通信運搬費	郵送料、電話代、インターネット接続代等
会議費	会議開催費(茶菓代は、1 人 1 回 300 円程度まで)

書類チェックリスト:

- ・本応募書類のすべての必要事項に記入した ☒
- ・連絡先は PC のメールアドレスを記載した ☒
- ・メールアドレスが間違っていないか、再度確認した ☒
- ・申請するコースを 1 つだけ選択した ☒
- ・助成対象期間や上限金額を正しく記載した ☒
- ・「支出の部」の「内容」を項目・単価など具体的に記載した ☒
- ・★印の金額が同一になっている ☒

最後まで入力できたら、必ず見返してください。

●特に多かった単純な誤りなど

団体名、メールアドレス (連絡がつきません)、金額の単位、助成金申請金額の合計